

【学生へのメッセージ】

酪農学園大学の礼拝を通して皆さんに出会うことをとても嬉しく思っております。「出会い」いうのは必ずしも人との「出会い」をいうことではありません。その「出会い」とは、人でもあり、場所でもあり、書物でもあり、思想でもある様々な「出会い」ということです。その中で、その「出会い」が「真の出会い」ならば真に行動する力を与えるということでもあります。皆さんの中で様々な素晴らしい「出会い」を経験した人も多くいると思いますが、今回は、聖書の中でザアカイという人を通して「真の出会い」の力を一緒に味わいたいと考えています。そして、わたしたちにも「真の出会い」が生まれ、新たな力になればと祈り願います。

【日本基督教団野幌教会の紹介】

朴美愛先生が牧師を務める野幌教会は今年で創立70周年を迎え、現在70周年記念の行事を行っています。7月22日（日）10時30分からは、本学出身の渡辺兵衛牧師をお迎えして、70周年記念特別礼拝を行います。本学と最も関係の深い教会でもありますので、一度訪れてみてください。

【聖歌隊へのお誘い】

大学礼拝では、相原先生と佐藤先生のご指導のもと、聖歌隊が「さんび」を歌っています。壇上で人前で歌うのは緊張することでもありますが、一緒に歌うことで新しい自分に出会うことができるかもしれません。礼拝後にオルガン前で練習していますので、ぜひご参加ください。

【本の紹介】仙北富志和学園長編『デンマークに学べ』（2018年）

学園長の仙北先生が編者を務める『デンマークに学べ——黒澤西蔵翁・遺訓』（酪農学園後援会、2018年）が発行されました。お読みください。

【次回の大学礼拝】2018年7月10日（火）10時40分

次回の大学礼拝は韓国のCCCの学生たちによる特別プログラムが行われます。韓国と日本の文化交流の場として、ぜひご出席ください。この交流は日本同盟基督教団文教台レインボー教会牧師の金周煥（キム・ジュファン）先生がコーディネートをしてくださっています。礼拝後には茶話会を行います。併せてご出席ください。韓流好きの学生もお越しくください。

【前回の大学礼拝】2018年6月26日（火）10時40分

学生 276名 教職員ほか 10名 合計 286名

【大学礼拝週報】 2018年度 第12号（前学期第12号）

2018年7月3日（火）午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《大学礼拝》

司 式 小林昭博（宗 教 主 任）
奏 楽 佐藤理恵（野幌教会会員）
讃美指導 相原晴伴（循環農学類教員）

前 奏 「いと愛しまつるイエスよ、われらはみな
み言葉を聞かんとてここに」（ツイップ作曲）
讃美歌 讃美歌 21 403 番（聞けよ、愛と真理の）
聖書 ルカによる福音書 19 章 1~10 節
祈り
さんび 酪農学園大学聖歌隊
奨励 「真の出会い」 朴美愛（パク・ミエ）
（日本基督教団野幌教会牧師・元本学キリスト教学教授）
報告
讃美歌 讃美歌 21 505 番（歩ませてください）
後奏 「汝のうちに喜びあり」（ボルンゲッサー作曲）

【本日の聖書】ルカによる福音書 19 章 1~10 節

1 イエスはエリコに入り、町を通っておられた。2 そこにザアカイという人がいた。この人は徴税人の頭で、金持ちであった。3 イエスがどんな人か見ようとしたが、背が低かったので、群衆に遮られて見るができなかった。4 それで、イエスを見るために、走って先回りし、いちじく桑の木に登った。そこを通り過ぎようとしておられたからである。5 イエスはその場所に来ると、上を見上げて言われた。「ザアカイ、急いで降りて来なさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい。」6 ザアカイは急いで降りて来て、喜んでイエスを迎えた。7 これを見た人たちは皆つぶやいた。「あの人は罪深い男のところに行って宿をとった。」8 しかし、ザアカイは立ち上がって、主に言った。「主よ、わたしは財産の半分を貧しい人々に施します。また、だれかから何かだまし取っていたら、それを四倍にして返します。」9 イエスは言われた。「今日、救いがこの家を訪れた。この人もアブラハムの子なのだから。10 人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである。」